

地方通信



北陸地方

福井縣下國道改修期待さる

表日本産業都、中京と裏日本の要港、敦賀を結ぶ國道十二號線即ち名敦國道はさる昭和六年から愛知縣費で批把島——一宮間を既に完成、引續き一宮——笠松(岐阜縣)間は内務省直營工事として完成、なほ岐阜——大垣間も岐阜縣費で竣成して昭和十二年度から五ヶ年計畫で木の本——敦賀間の

工事を急いでゐるが、木の本——賤ヶ岳間も滋賀縣費ですでに竣成を見、目下賤ヶ岳

地方通信

——鹽津間も着々進捗し最大難所である深

坂峠越しの鹽津(滋賀縣)——敦賀間延長十七キロ九百八十九メートル(滋賀縣管内七キロ二百四十九メートル、福井縣管内十七

キロ七百四十メートル)の改修工事が残されてゐるわけで、内務省直營工事として本年度中にいよいよ着工に決した旨吉報に地元民を歡喜させてゐるが鹽津——敦賀間の工費には、九十萬圓の巨額を投じることになり、この工費中滋賀縣負擔二十五萬八千圓

福井縣負擔六萬四千二百圓で殘額は國庫補助にまちな名敦國道五ヶ年計畫もいよいよ昭和十六年度で完成の豫定のところ、物資統制のため噸數百二十キロにわたる全工程の

竣工はこゝ三、四年の遅延は免れぬ模様である。併し竣工の曉は國道の幅員七メートル、有效幅員六メートルで曲線カーブも最小六十メートルとし、時速六十キロの速度でトラックを樂に運轉することが出来、新道路の加重は十三トン(自動車の自重を加算すれば約十四トン)で、この名敦國道幹線は銃後における産業開發、生産擴充を促進しまた裏日本敦賀港を経て鮮滿支貨物輸送に重大任務を果すものとして關係者間では竣工の一日も早からんことを鶴首してゐる。

東海地方

愛知縣名古屋市の交通調査

愛知縣警察部では時間交通對策として實地踏査が必要だと六月二十四日朝六時から田中警察部長、安藤保安課長、螺澤熱田樋口臨港、伊井御器所各署長、鷺尾市電車課長

富樫市自動車課長をはじめ名鐵、三菱、愛知時計、大同製鋼、日本車輛、名工廠關係者二十餘名は熱田神宮に参拜してのち市内軍需工場地帯職工のラツシユアワ一のひと入きを街頭に立つて交通實地調査し、のち名鐵本社會議室で委員會を開き、協議の結果七月一日から五日間を名古屋市内の交通道德強化デーを定め、この期間中は午前六時から七時、午後四時半から同七時半にわたり軍需工場職工の出勤、退場を狙ひ所轄署員市電氣局係員が上前津、熱田驛前内田橋、尾頭橋、榮町、名鐵神宮前、道徳驛、大江驛（以上出勤時）船方、南陽館前、熱田驛前、高藏雁道（以上退勤時）の各所に出勤し交通機關の配車ならびに運行整理、交通従業員の乗客取扱ひ訓練工場従業員の乗車訓練、その他一般交通訓練の指導と、交通緩和策に乗り出し大に得る所があつた。

近畿地方

和歌山縣々道幹線改修施工の促進

和歌山縣下田邊本宮間の縣道中邊路線改修工事は地元縣民の多年の懸案であつたがいよいよ本年度から總工費約九十萬圓（うち國庫補助約四十萬圓、縣費負擔約五十萬圓）で着工の運びとなつた。同路線の改修工事につき縣會開會中の十六日午後縣當局へ鐵道省から本年中に同工事を施行するなれば國庫補助四十萬圓を交付するとの公電に接した縣當局では寢耳に水のこの吉報に大いに喜びこの機を逸しては到底多額の改修費を要する同工事の實現は不可能と見て開會中の縣會の協議會に諮り改めて招集する縣參事會に同工事を審議促進出来るやう縣參事會の委任規定を縣會で議決の運びとなつたもので縣では鐵道省と折衝同工事の促進を急いである。

四國地方

徳島縣下福井橋の竣工

徳島縣下縣道立江日和佐線の要衝、那賀郡福井村福井川に架設中の福井橋はこの程見事に竣工した。此竣工した福井橋は延長百三十八メートル、うち八十三メートルが取合道路で橋梁の長さ五十五メートル、有效幅員五・五メートルで、洪水に對する治水關係から常水川敷に橋脚を建てることを避けゲルバー式コンクリート橋で、橋臺は時局柄鐵材使用を考慮し、重力式玉石混凝土で總工費七萬九千七百餘圓と一年九ヶ月の歳月を要して今回竣工を見たもので、縣直營で富岡土木出張所と一部請負で苦心に苦心を重ねた結果この結晶を見たもので材料は鐵筋三十四トン、鋼材三百六十八トン、セメント四千五百五十袋を使用した。

徳島縣廳前の架橋の進捗 如何

徳島縣廳前架橋工事は十三年度から三年繼續事業として完成の豫定であつたが、最近重要道路の幹線橋梁となつたので竣工豫定期間を一ケ年繰上げ明春三月完成することになり、近く晝夜續行の本格的工事に着手することになつた。同橋梁は總工費十六萬二千圓で延長七十五メートル幅員十二メートル、歩車道を區別したゲルバー式鐵筋コンクリートの堂々たるものである。縣土木課では完成期間繰上げで早くも何と命名したものと頭をひねつてゐるが氣の早い市民から港橋、渭の津橋など命名の候補が届けられるなど、新町川を距て、小松島、撫養兩方面を結ぶ重要橋梁となる橋だけに完成は待望されてゐる。

福岡縣橋梁の一修理着工 近し

福岡縣朝倉郡甘木町から田主丸町に至る縣道筋筑後川兩統橋は一昨年縣會で三十五萬圓の豫算を可決して鐵筋コンクリート橋に架替工事をなす計畫だつたがその後時局關係で着工延期となつてゐるが現在同橋は木橋の部分が甚しく腐朽して交通危険のため甘木土木管區所では數萬圓の豫算をもつて大修理をなし蟻城村宇中村地内の右岸取付道路を新築することになり、すでに施行認可もあつたので近く工事請負入札に附し、大修理をなすことになつた。

朝鮮地方

朝鮮地内自動車専用道路 の建設

重要視される鮮内自動車専用道路の建設案はいよいよ實現されることとなり、總督府では明年豫算に關係經費を計上すべく研究を進めつゝある。その速力、驛、鐵路の不安、空襲などの場合その復舊容易なる點などおよび費用から考へても自動車は時局下汽車より有利な點が多數考へられるので昨秋の時局對策委員會の決定に本づいて早急に建設することとなつたもので、先づ取敢ず釜山、新義州間、京城、楡城間に幅員二十メートルの自動車専用道路を設けるとなつた。根本的に行ふには總經費二億圓を要するものと見られるが、國策的重要施設であり、今後三ヶ年乃至五ヶ年の繼續事業として實現を期すべく慎重立案を進めてゐるものゝやうである。

九州地方

大陸への棧橋として國防上、産業上最も